

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

準備期間 2015年10月1日～6月1日
広報期間：2016年3月1日～2016年4月30日
プロジェクト期間：2016年6月2日～2016年6月3日
検証・決算期間：2016年6月3日～9月13日

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○MEMBER

24名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください。文字数制限（半角英数100文字まで）があります。

例：○○市ボランティア団体等

NPO 法人ハマのトウダイ
(Yokohama's social business NPO organization、運営サポート)
横浜市教育委員会
(Yokohama City Board of Education、後援)
株式会社スノーピーク
(A famous outdoor company in Japan、テントの提供・設営協力)
株式会社ヤマダ
(Yokohama's famous fireworks company、ワークショッププログラム協力)
コカ・コーライーストジャパン株式会社
(Coca-Cola East Japan Co., Ltd.、飲料水提供)
こども映画教室
(Children's Film Classroom Organization、こどもが監督した自主映画上映)

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら ONE HUNDRED DOLLAR

6410ドル

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、NONE にしてください

なし

In which UN MDG best fit (if Apply)?

説明：UN MDGs の該当項目（もしあれば）

なし

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

横浜市の小学生と保護者の為に

一般社団法人横浜青年会議所メンバーの為に

Objective 目的

説明：(例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

【為せば成る Where there is a will, there is a way】

実現不可能と思われる事業を青年会議所メンバーが実現することで子どもたちに、「為せば成る」という考え方を持つ意識変革を起こすこと。

【子供達】

- ・新しい経験を通して、世界観を広げるきっかけを創る。
- ・自主的に取り組み、自立性を促す。

【保護者】

- ・親子のコミュニケーションを深める機会を提供する。
- ・(一社) 横浜青年会議所が行っている事業を体験して頂き、組織の賛同者を得る。

【(一社) 横浜青年会議所】

- ・自らが横浜の子供の健全育成の担い手となりえる自信と自覚を持つ。

Overview 概要

説明：小学生でも事業内容・運動が理解できるように、簡単な単語のみで事業の大まかな説明をして下さい。

【NO-ASOBI】

このプログラムは2017年6月1日～2日に行われた第35回横浜開港祭の中で行われました。計68名の親子が参加しました。横浜港に面した美しい景色のウォーターフロントエリア「みなとみらい」地区でキャンプ事業を行った。「みなとみらい」地区は日本で2番目に高い高層ビル「ランドマークタワー」や、日産本社ビルが建つオフィス街。そこには災害・非常時の対策として地下に膨大な給水タンクが供えられた大きな公園があった。この公園は大きいですが、市民の憩いの場所として有効活用されておらず、キャンプをすることは禁止されていた。横浜青年会議所メンバーは、この公園でキャンプが出来れば市民は喜ぶに違いないと考えた。そして、この公園で募集した親子と、ワークショップ体験もできる宿泊型キャンプ事業「NO-ASOBI」を行った。

【NO-ASOBIとは？】

「野遊び」とは人間が太古の昔より自然の中で暮らし営んできた生活。太古の人間のように自然を肌で感じ、動き回り、絵を描き、テントで住処を作り、外で食事をして、親子や友人と語り合い、星空を眺めて寝る。都会の生活では失われがちな、自然の中で生活する経験。

計68名の親子で、一般開放していないみなとみらい臨港パークで「NO-ASOBI」の実施をしました。

【参加者】

横浜市内在住・在学の小学生31名、保護者33名、同伴の未就学児4名
参加親子組数23組（合計68名）

【横浜開港祭にて本事業を行う理由】

第35回横浜開港祭は“Thanks to the Port”をテーマに開港の歴史を学び、開港を祝う市民祭です。本事業の目的は我々JCメンバーが横浜の子供の健全育成の担い手となりえる自信と自覚を持つことです。その為に、子供達にどのような機会を与えれば成長を促せるかを考え様々な企画を行いました。参加する親子が、横浜開港祭の中で新しい経験をし、世界観を広げ、今後の生活で創造力を持って新たな挑戦をするきっかけを創ってもらうために、また、子供達に横浜の歴史を伝え、横浜を好きになってもらうために、横浜開港祭のイベントの一部に野遊び体験ができる企画を行いました。また、横浜市の公立小学校が休業となる開港記念日を開催期間に選んだことで、横浜市で育つ小学生およびその親の積極的な参加が見込めることから、第35回横浜開港祭にて本事業を行うこととなりました。

Results結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

【事業後のアンケート結果】

「新しい体験ができた」子供85%、

「自分の知らない事を学べた」子供82%。

「色々な事に挑戦する」子供85%。

「NO-ASOBI で学んだ事を自分でやってみる」子供76%。

「親子のコミュニケーションが更に深まった」保護者85%。

「(一社) 横浜青年会議所の事業や取り組む姿勢に賛同する」保護者100%。

「自らが横浜の子供の健全育成の担い手となりえる自信を持てた」横浜青年
会議所メンバー100%

【想定外の結果】

・事業を見た公園の管理会社より公園利用の新しい形と賞賛を受けた。来年以降も同事業の開催許可を得た。

・子どもたち以上に保護者たちから思い出に残る事業と賞賛を受けた。続けてほしいとリクエストを貰った。

【確認方法】

・アンケート（参加者親子）

・Webアンケート（横浜青年会議所メンバー）

Actions Taken 行動

説明：大まかに、事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について

書いて下さい。日付も入れて下さい。箇条書きでも構いません。

2015年10月

- ・横浜市青少年育成関連データ調査。

2015年11月

- ・公園管理会社にプロジェクトのプレゼンと事前協議開始
- ・横浜市教育委員会に後援依頼

2015年12月

- ・NPO法人にサポート依頼
- ・後援企業、団体の選定、後援依頼

2016年1月

- ・公園管理会社よりプロジェクトの承諾
- ・横浜青年会議所内での協議開始

2016年2月

- ・横浜市教育委員会に後援承諾
- ・後援団体より協力の承諾

2016年3月

- ・横浜青年会議所内で事業承認
- ・参加者募集広報開始

2016年4月

・株式会社スノーピーク本社（新潟県）へ訪問。殿内理事長から山井代表取締役社長へNO—ASOBI事業への協力依頼。運動発信への賛同を得て、スタッフや機材の提供の承諾を得る。

- ・参加者が定員に到達
- ・後援企業、団体と、横浜青年会議所メンバー打ち合わせ

2016年5月

- ・参加親子へ説明会
- ・後援企業、団体と、横浜青年会議所メンバー最終打ち合わせ

2016年6月1～2日（プログラム実施日）

第35回横浜開港祭開催期間中に臨港パークにて株式会社スノーピークからご提供頂いたアウトドアテントを20張り設置し、キャンプを開催致しました。開催中のコンテンツは以下の通りです。

- ① 「素足になって青空の下で芝生を踏みしめてみよう」
- ② 「横浜開港祭の打ち上げ花火の画を描いてみよう」
- ③ 「野原にテントを張ってみよう」
- ④ 「外でご飯を食べてみよう」
- ⑤ 「横浜開港祭について話そう」
- ⑥ 野外シアター「こども映画教室@ヨコハマ作品上映」

テントは参加家族ごとに割り当て、テントの設営を一から行って頂きました。都会の公園でキャンプを行うといった非日常を体験し、家族間のコミュニケーションや参加者同士のコミュニケーションが深まり、子供たちの世界観を広げる手法を行いました。

終了後にすべての参加者にアンケートを行い、後日検証を致しました。

2016年9月 決算を終え、この事業は完全に終了致しました。

Recommendations 考察や推奨

説明：目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

【為せば成る Where there is a will, there is a way】

・子供達の成長

- ① 新しい経験をすることで、今後の可能性を広げる事ができました。
- ② 積極的な変化を創造する事に成功しました。

・保護者

- ① 親子のコミュニケーションが深まる機会となりました。
- ② 横浜 JC の活動を理解いただき、組織の賛同者になって頂くことに成功しました。

・横浜 J C メンバーの成長

- ① 現実不可能と思われた場所でのキャンプの開催はメンバーに自信を与える機会となりました。多くのスポンサーに私たちの思いを共感頂き、開催できる喜びを、メンバー全員で共有できました。
- ② このプログラムを通して、(一社)横浜青年会議所メンバーの子供達に新しい世界と可能性を感じてもらえる事が、子供達の成長を促すことの大切さを学ぶことができました。それは横浜の未来への大切な一歩であります。

Best Local Growth & Development Program

個別項目

Strategic Plan 戦略計画

What were the objectives of the program

何はそのプログラムの目的？ ※200語まで

このプログラムの目的は子供達に積極的な変化を生む機会を与えることで、J Cメンバーが成長する事です。

- ・子どもたちに自分が住むまちを望み通りにより良く変える夢をもつこと。
- ・横浜青年会議所メンバーが行政や民間企業の持たない新たな視点で、まちをより良くする為に、子どもたちの見本となって行動し実現すること。

How does this program advance the plan of action of the Local Organization? どのように、このプログラムは、L O Mの活動計画を推進しますか? ※200語まで

2016年度のL O Mの運営テーマは「創発 Emergence」です。「まちづくり city development」を通じて「ひとづくり human resource development」を行い、「まちづくり」のできる「ひとづくり」を行う為、多くの賛同者を募り、大きなムーブメントを起こすことが「創発」です。

35年も続く横浜開港祭の中で「NO-ASOBI」を行う事で、子供達が横浜の歴史を知り、横浜を好きになるきっかけを作ることに成功しました。また、このプロジェクトの趣旨を理解して頂き、協力してくれた多くの支援者との関係はこのプロジェクトだけにとどまらず、今後も良い関係を築き続けることで、本当の「創発」ができると確信しております。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どのように、このプロジェクトは、JCI ミッションとヴィジョンを推進しますか?

※200語まで

このプロジェクトは子供達に自分が住むまちをより良く変える事で、J Cメンバーが自信を持ち成長することができました。子供達には決して体験できなかった横浜市中心部のウォーターフロントエリアでの、非日常的な「NO-ASOBI」体験を提供し、多くのワークショップ体験を通じて、一生忘れられない思い出が出来ました。また、その機会を提供することで、J Cメンバーが子供達の健全育成を担うのは自分達である事を理解し、自覚する事の出来るプロジェクトです。

画像4枚

Involvement of Local Board of Directors and Members

L O M理事とメンバーの参加

By number, how many members were involved?

数で答えて下さい。参加メンバー数は？ ※2語まで

210

By percentage, how many members were involved in this program?

%で答えて下さい。メンバーの事業参加割合は？ ※1語まで

68%

• How many Local Board members were involved in the project?

数で答えて下さい。LOMの理事の参加人数は？

※1語まで

34

画像4枚

Methods of Implementation

実施方法

What methods and/or activities were used to grow and develop the Local Organization?

どのような方法や活動が成長と開発の為に用いられましたか？ ※300語まで

このプロジェクトを開催するにあたって、臨港パークの指定管理会社である株式会社パシフィコ横浜と事前協議の段階から多くの議論を重ねてきました。プロジェクトの趣旨を理解して頂き、開園以来初めて公園内宿泊を許可して頂きました。この様に前例の無い事に前例を作れることがJCの強みであり、前例の無い事を子供達に体験させる事ができるのがJCの強みでもあります。このプロジェクトは多くの賛同者と支援者の協力を得て実現する事ができました。そこに至るまでの経過にはたくさんの努力と苦労があり、それを乗り越えて達成したことが、メンバーの成長と開発に繋がりました。

Which method/activity was the most effective in recruiting new members?
Why? どの方法や活動が、新メンバーを入れることに最も効果的でしたか?
なぜ?

※150語まで

初めての事業に取り組む姿勢を、たくさんのスポンサーと参加してくれた家族に間近に見てもらふことで、自分たちの青少年育成に対する本気の気持ちを感じ取ってもらえたことが一番効果的でした。なぜなら、100%の保護者に（一社）横浜青年会議所の事業や取り組む姿勢に賛同頂けたからです。

Which method/activity was the most effective in developing current members?
Why? どの方法や活動が、現在のメンバーを成長させることに最も効果的でしたか? なぜ? ※150語まで

共催のNPO法人ハマのトウダイ様をはじめ各コンテンツで協力企業や団体といかに企画運営を行っていくか、事業の半年前からシュミレーションを行い、準備しました。通常は許可の下りない場所でキャンプをするなど、様々な物事をひとつひとつ解決する事により、自分たちの経験を豊かにし、チームの結束力を高める事に成功しました。最後に、子供たちの笑顔が一番僕たちを成長させてくれました。

画像4枚

Results Achieved

成し遂げられた結果

By number, how many new members were recruited by this program?

数字でお答えください。この事業によって何名の新しいメンバーを獲得できましたか?

※2語まで

0

Which objectives did the program achieve?

プログラムは、どの目的を達成しましたか？ ※200語まで

85%の子供たちの積極的な変化を達成しました。

85%の親子のコミュニケーションが深まりました。

100%の子供達が横浜開港の歴史を勉強する事ができました。

100%の保護者に（一社）横浜青年会議所の事業や取り組む姿勢に賛同頂けました。

支援者とJCメンバーが青少年の健全育成の大切さを理解し、自覚を持つことができました。

What was the most important outcome of this program?

このプログラムで最も重要な結果は、何でしたか？ ※150語まで

本事業に参加して（一社）横浜青年会議所の事業や取り組む姿勢に100%の保護者の賛同を頂けました。これからも自分たちが横浜の未来を担う子供達の健全育成に力を貸すことが、今後の明るい豊かな社会の実現に近付ける一歩であることが分かりました。

画像4枚

Long-term Impact of the Program

プログラムによる長期的影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？ ※200語まで

子供達とその親に（一社）横浜青年会議所の活動や姿勢を見て頂く事により、将来 J C に入りたい、子供を J C に入りたいという気持ちを持ってもらうことです。子供達が大人になった時に、「NO—ASOB I」をした事を思い出し、その子供達に自分と同じ経験をさせてあげたいと思ってもらう事です。

What changes would you make to improve the results of this project?
あなたは、このプロジェクトの結果を改善するために、どんな変更を計画していますか？ ※300語まで

このプロジェクトが子供たちの積極的な変化を生み、横浜 J C メンバーの青少年の健全育成を自分たちが担う自覚を持つ事が達成できる事が証明されました。次回はもっとたくさんの親子に参加してもらうために、プロモーション活動に力を入れます。また、アンケートでまた来年も参加したいという回答が多かったので、飽きさせないコンテンツを作成する事も考えております。最後にこのプロジェクトは横浜に限らず、世界各国で共通に行えるものです。「NO—ASOB I」という言葉と活動を横浜から発信し、世界に広める活動を行っていきたいと考えております。

画像データ四つ必要